

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：家計調査(2013年 6 月)

発表日：2013年 7 月30日(火)

～ヘッドラインほどの悪化ではない～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 星野 卓也

T E L : 03-5221-4526

(単位: %)

|      |     | 実質消費支出 (二人以上世帯) |       |          |       | 実質可処分所得<br>(勤労者世帯) |       | 消費性向<br>(勤労者世帯) |
|------|-----|-----------------|-------|----------|-------|--------------------|-------|-----------------|
|      |     | 合計              |       | 除く住居等(※) |       | (勤労者世帯)            |       | (勤労者世帯)         |
|      |     | 前年比             | 前月比   | 前年比      | 前月比   | 前年比                | 前月比   | 季調値             |
| 2012 | 1月  | ▲ 2.3           | 0.0   | ▲ 1.4    | 0.7   | 1.4                | 0.9   | 73.7            |
|      | 2月  | 2.3             | 0.6   | 1.9      | 0.8   | 1.8                | 2.5   | 72.7            |
|      | 3月  | 3.4             | 0.6   | 3.3      | ▲ 0.2 | 3.7                | ▲ 0.9 | 73.0            |
|      | 4月  | 2.6             | ▲ 0.5 | 3.3      | 0.2   | 2.3                | ▲ 0.4 | 73.2            |
|      | 5月  | 4.0             | 0.6   | 2.7      | ▲ 0.3 | ▲ 0.4              | ▲ 2.4 | 74.2            |
|      | 6月  | 1.6             | ▲ 0.9 | ▲ 0.4    | ▲ 1.8 | 3.7                | 2.5   | 73.2            |
|      | 7月  | 1.7             | ▲ 0.8 | ▲ 0.7    | ▲ 0.2 | ▲ 4.0              | ▲ 3.1 | 74.7            |
|      | 8月  | 1.8             | 1.2   | 1.9      | 1.6   | 2.6                | 3.4   | 72.9            |
|      | 9月  | ▲ 0.9           | ▲ 1.3 | ▲ 2.1    | ▲ 1.9 | ▲ 0.1              | ▲ 1.5 | 74.3            |
|      | 10月 | ▲ 0.1           | 0.4   | 0.5      | 1.4   | ▲ 0.1              | 1.3   | 73.9            |
|      | 11月 | 0.2             | 0.1   | 0.5      | ▲ 0.2 | 1.1                | ▲ 0.5 | 74.7            |
|      | 12月 | ▲ 0.7           | ▲ 0.1 | 0.1      | 0.6   | 0.8                | ▲ 0.4 | 75.0            |
| 2013 | 1月  | 2.4             | 1.9   | 2.2      | 1.8   | ▲ 0.1              | ▲ 0.4 | 76.7            |
|      | 2月  | 0.8             | 2.2   | 0.4      | 1.5   | ▲ 1.7              | 0.7   | 77.8            |
|      | 3月  | 5.2             | 2.0   | 2.5      | ▲ 0.3 | 0.6                | 1.6   | 77.3            |
|      | 4月  | 1.5             | ▲ 4.6 | 1.0      | ▲ 2.4 | 0.5                | ▲ 0.6 | 73.2            |
|      | 5月  | ▲ 1.6           | 0.1   | ▲ 0.3    | 1.3   | 3.1                | 0.3   | 74.0            |
|      | 6月  | ▲ 0.4           | ▲ 2.0 | 2.5      | ▲ 1.2 | 1.4                | 0.6   | 72.3            |

(出所) 総務省「家計調査報告」

※「住居」、「自動車購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている

## ○ヘッドラインほどの悪化ではない

6月の実質消費支出は前年比▲0.4%（コンセンサス：同+1.2%、レンジ：同▲0.4%～+3.9%）とコンセンサスを下回る結果となった。前月比でも▲2.0%と5月から減少しており、弱めの印象である。しかし、振れの大きい項目を除いた「除く住居等」ベースでは、同▲1.2%と減少幅は比較的小さく、底堅い推移である。昨日発表された小売業販売額が前月比微減に留まっていることも併せれば、ヘッドラインの数字ほどに、6月の個人消費が悪化したわけではないと考えられる。

項目別に実質消費指数（季節調整値）をみると、5月に高い伸びとなった「住居」（前月比：▲15.6%）や「教育」（同▲5.4%）といった振れの大きい項目が大幅に減少しており、消費支出全体の押し下げ要因となっている。また、理美容用品やたばこなどを含む「諸雑費」（同▲5.0%）の減少幅が大きかった。

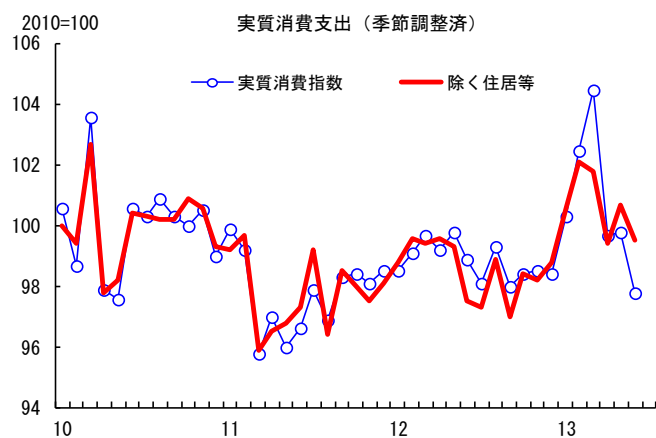
その他、「被服及び履物」（同▲1.2%）は単月では減少となったが、振れを均せば増加傾向にある。「家具・家事用品」（同+0.6%）や「教養娯楽」（同+0.8%）は単月で増加したほか、均してみても堅調な推移となっている。

## ○4－6月期の個人消費は前期比プラスへ

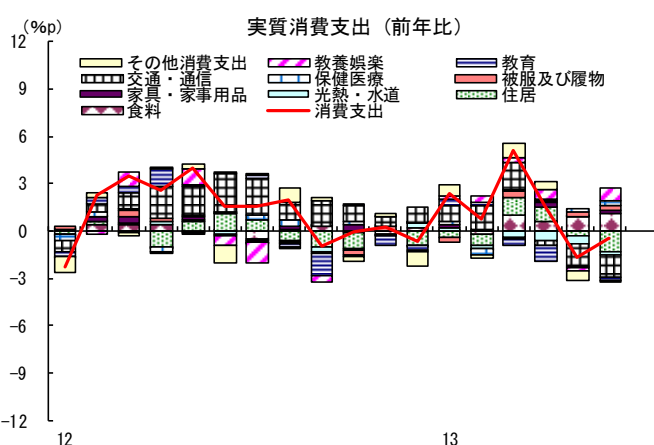
このところの個人消費関連統計からは、消費の裾野の広がりが見える。年初は株高を背景とした高額品販

売などの好調が目立っていたが、足元ではチェーンストア・コンビニ販売、外食、旅行など、より消費者に身近な業種においても、持ち直しの動きが生じてきている。良好な消費者マインドが持続していること、雇用の持ち直しが明確化してきていることなどが背景にあるのだろう。こうした動きを支えに、4－6月期の個人消費（GDPベース）は、3四半期連続の前期比プラスとなる見込みである。

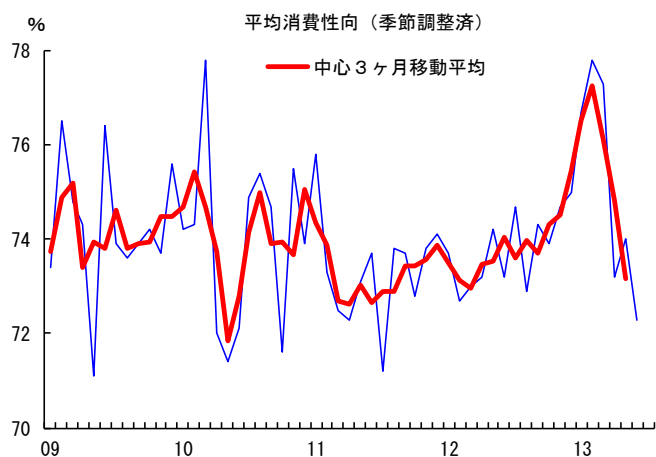
今後に関しても、消費の源泉である家計所得は、雇用の持ち直しを背景に増加傾向で推移する公算が大きい。消費者マインドについても、金融市場の動向がリスク要因ではあるが、雇用環境の持ち直しを支えに良好な水準を保つだろう。個人消費は、今後も増加傾向での推移が続くとみている。



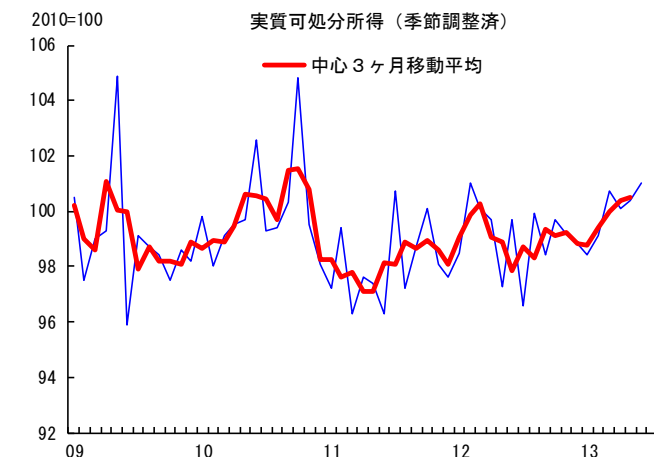
（出所）総務省「家計調査」



（出所）総務省「家計調査」



（出所）総務省「家計調査」



（出所）総務省「家計調査」